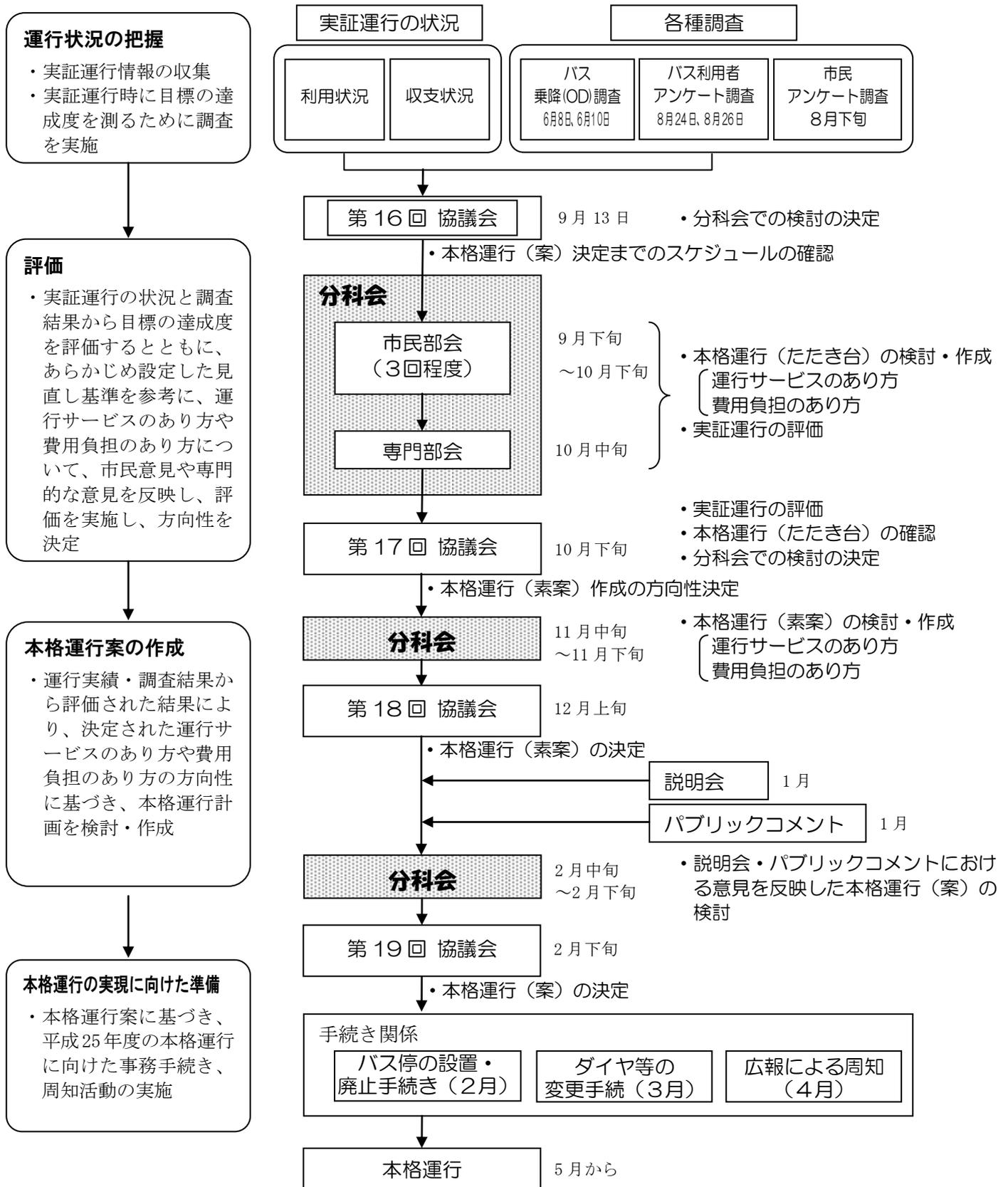


議題（１）本格運行に向けた今後の取り組みについて

1. 各種協議会の進め方について

（１）全体的な進め方



(2) 市民部会の進め方について (9月～10月)

<市民部会の開催目的>

国からの補助が廃止される平成25年度以降においても、市民の生活を支える交通手段として、オレンジゆずるバスを持続的に維持していくため、運行経費と運行収入の関係を考慮しながら、本格運行に向けた最適な運行のあり方(運行サービス・費用負担)を検討する。

第11回
(9/27(木))

検討項目(1) 新たな収入確保の検討について

- 利用促進の取り組みとともに、本格運行に向けた新たな収入の確保に関して意見交換する。

検討項目(2) 運行ルートの検討について

- 運行実績、各種調査、市民意見・要望などとともに効率的・効果的な運行ルートに関して意見交換する。

第12回
(10月上旬)

検討項目(1) 新たな収入確保の検討について

- 前回の意見交換内容を踏まえた取り組み(案)を作成する。

検討項目(2) 運行ルートの検討について

- 前回の意見交換内容を踏まえた運行ルート(案)を作成する。

第7回 専門部会

- 市民部会作成の運行ルート(案)に専門的な検討を加える。

第13回
(10月下旬)

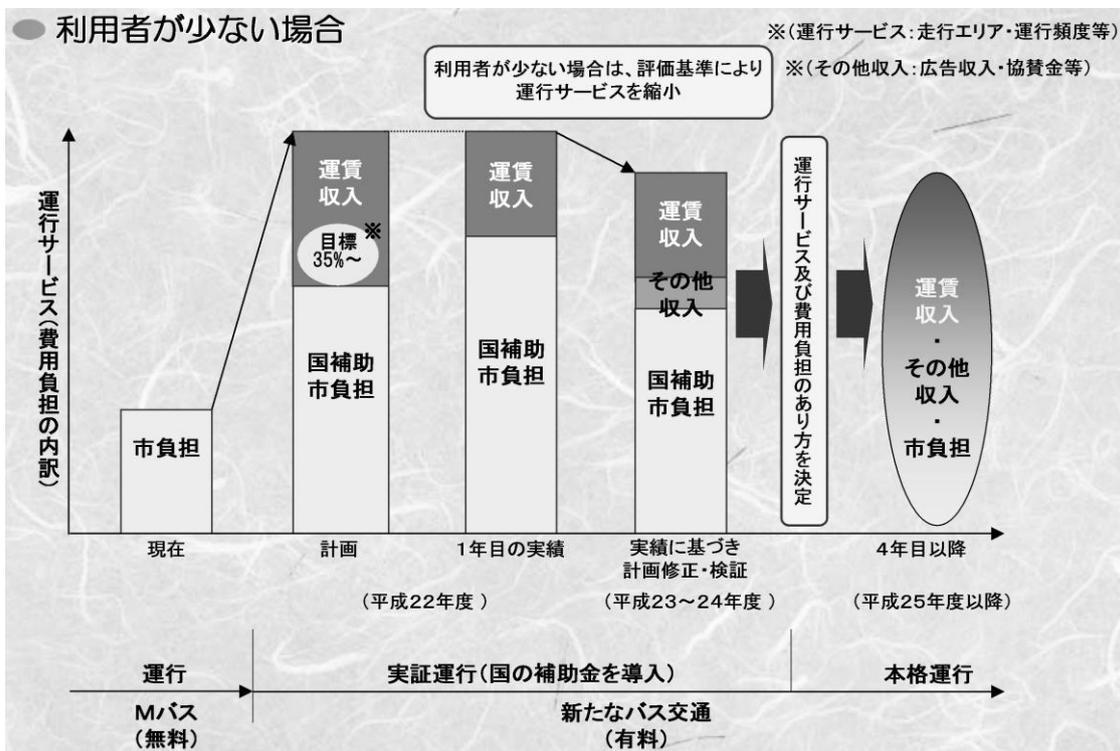
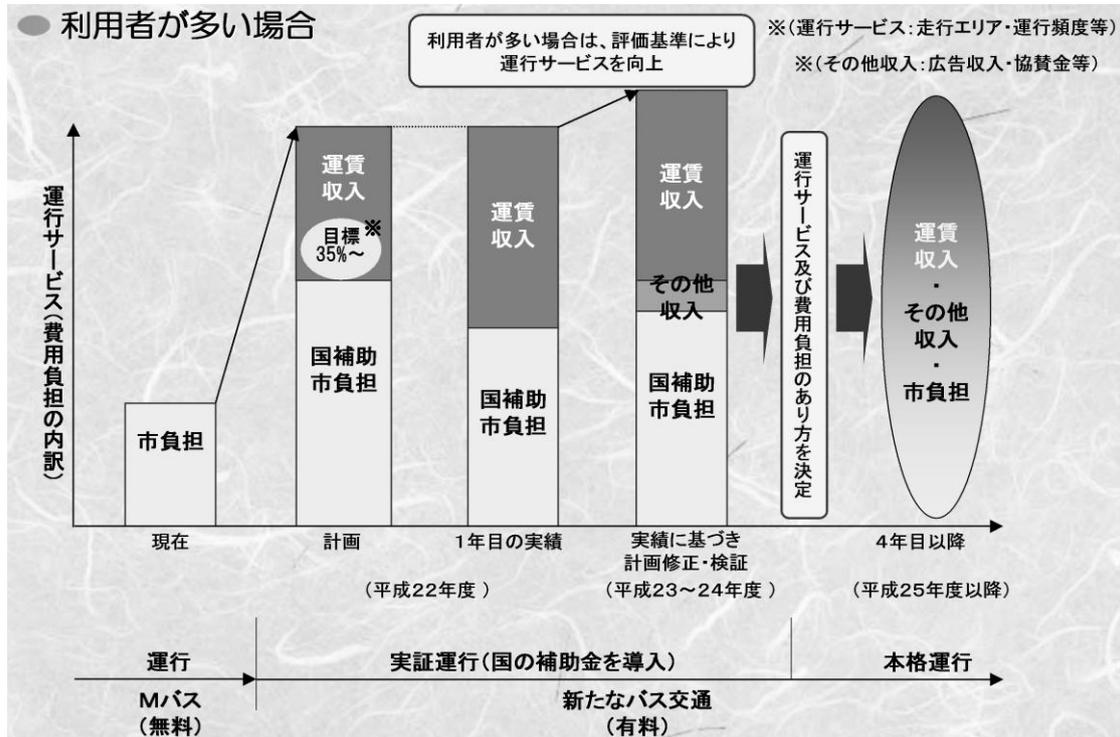
検討項目(3) 運行サービス・費用負担について

- 専門的な検討が加えられた運行ルート(案)をもとに、運行経費と運行収入について検討し、運行のあり方(案)を作成する。

第17回 協 議 会

2. 本格運行に向けた検討の方向性

(1) 実証運行の前提条件 (平成21年度)

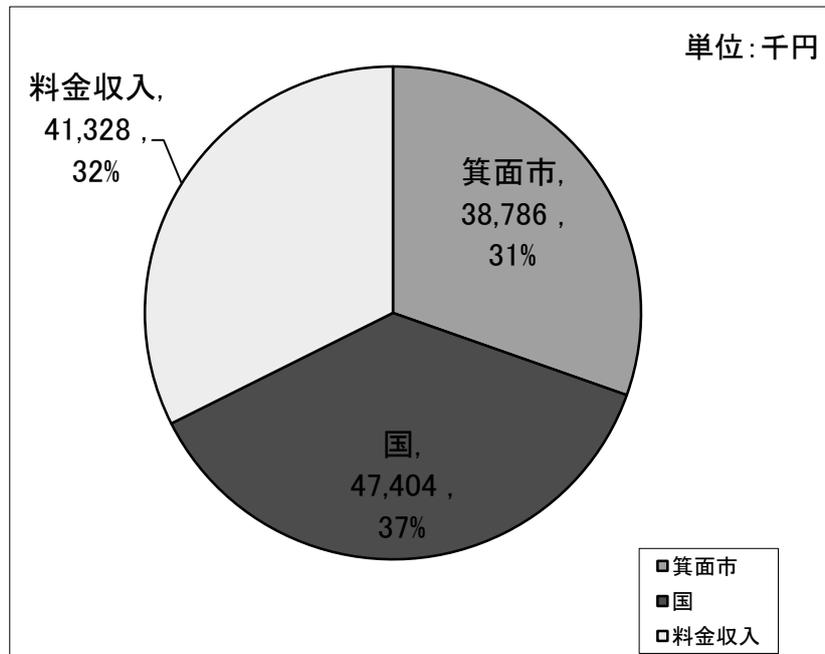


※ 計画時における収入目標

出典：箕面市地域公共交通総合連携計画 (H21年度)

(2) 平成 23 年度 監査報告 (平成 24 年度 6 月 1 日の協議会)

内訳 { 協議会負担(国+市) 86,190千円
 国 : 55%
 市 : 45%
 料金収入 41,328千円



- 今後、本格運行に向けた(国の補助がなくなる)費用負担のあり方やサービスレベルのあり方について考えていくことが当面の課題となる。